

第6回厚木市本厚木駅周辺まちづくり推進会議 会議録

会議主管課	市街地整備課
会議開催日時	令和4年4月22日（金）午前10時～午前10時40分
会議開催場所	アミューあつぎ6階ルーム610
出席者	委員 11人 （欠席 1人） 事務局 都市整備部市街地整備担当部長、 市街地整備課中町第2-2地区整備担当課長、 同部同課 副主幹兼中町第2-2地区整備係長、 同部同課同係技師 （受託者：日建設計 2人） 傍聴人 1人
公開日	令和4年5月6日（金）

会議内容は、次のとおりです。

1 開会

委員長	ただ今から第6回厚木市本厚木駅周辺まちづくり推進会議を開催します。
事務局	傍聴人について、「厚木市本厚木駅周辺まちづくり推進会議の会議等の公開に関する要綱」では、傍聴人の定員を5人としていますが、現在傍聴希望者が1人おります。
委員長	傍聴希望者を受け入れてよろしいか。
委員	異議なし
委員長	それでは傍聴人の入場をお願いします。

2 案件

(1) 提言書について

委員長	案件(1)について説明をお願いします。
事務局	案件(1)資料1を説明
委員	これまでの議論が、提言書にきちんと反映されている。p.10の結びの最終段落「本推進会議の役割を終えた後も～」の部分について、具体的にどのような形で本推進会議が今後引き継がれるのか。p.13～15のほこまちチャレンジの主体になるという理解で良いか。
事務局	御指摘のとおり、提言書においては、本推進会議のメンバーがほこまちチャレンジの主体になることを想定して整理している。委員の皆様全員に御参画いただく必要があるかは、今後検討が必要である。また、今後市としての関わり方も定まっていないため、今後検討していきたい。個別に御意見をお伺いすることもあると思うので、引き続き御協力をお願いしたい。
委員	提言書とは別に、ワークショップでの成果をいかした「歩いて楽

	しいまちマップ」のようなものを作成してほしい。
事務局	いくつかの庁内部署で、すでに様々な街歩きに関する地図を発行している。そういったものをもう一度見直しながら、歩いて楽しいまちとしての魅力を発信するようなものや、歩いて楽しいまちづくりの視点を取り入れることを検討していきたい。
委員	提言書の内容について異論はない。本推進会議を進めるに当たって、ワークショップに参加したが、貴重な経験であった。今後もワークショップを積み重ねていくことでまちがよい方向へ進むように感じた。本推進会議にとって、ワークショップは重要な存在であったため、p.12にワークショップの開催経過も反映したい。
事務局	市民参加の手続き上、本推進会議とワークショップは異なる議論の場であるため、事務局案には反映していなかった。御指摘を踏まえて、ワークショップの開催経過を追記する。
委員	p.14の上段の目的の一つに、サードプレイスの拡大とあるが、現状でまちなかにサードプレイスが存在するのか不明なため、創出等といった表現が適切ではないか。
事務局	現在、バスセンターの東側で検討を進めている複合施設の基本理念に、サードプレイスという表現があるため、拡大としていたが、現時点で複合施設はまだ完成していないため、創出へ修正する。
委員	カフェ等ではなく、公共空間としてのサードプレイスがまちなかにあることは重要なので、創出で良いと考える
委員	p.9の「厚木中央公園の可能性」について、「民間事業者等が有する柔軟性や想像力を活かした多様な利活用を促進」と記載されているが、具体的に何を促進するのか。現在は公園でのイベント利用時の利用料金が高等、ハードルがあると感じる。
事務局	ワークショップにおいて、市民の皆様から公園などの公共空間の利活用を求める声があったことを、本推進会議で報告させてもらった際に、委員の皆様から賛同いただいたため、このような表現をしている。現時点で、市として、具体的に何かというものはないが、御指摘を踏まえて、表現方法を検討する。
委員長	委員の皆様の見解を踏まえ、提言書を修正し、私と職務代理者が最終確認した上で、市長へ提言書を提出してよろしいか。
全委員	異議なし

3 その他

(1) 今後の予定について

4/25 本厚木駅周辺まちづくり推進会議から提言書提出

4 閉会

以上